



## 一句の重さ

# 夏井いつき

二十年目に入ったラジオ番組『夏井いつきの一句一遊』。たった十分ながら月金の帯番組。毎週お題が一つ出題され、月曜日は下手な俳句、火曜日は凡人、水曜日は才能あり、という具合に読まれ、金曜日はその週の優秀作品が発表されるという仕組みだ。

番組開始当初、投句はほんの数十句しかなかった。が、一年目を迎える頃、リスナーの皆さんが「聞き書き隊」を結成し、番組内容をネット上で公開してくれるようになった。番組を聞き逃した人もそこで、自分の句の評価が確認できる。地元南海放送ラジオの電波が届かない地域からも投句がくる。果ては、ドイツ・アメリカ・カナダ・ベトナム・インドネシア・台湾など各国からの投句も届くようになり、投句数は飛躍的に増えていった。

局から投句の束が届く。葉書投句も少しあるが、ほとんどがメール投句だ。「毎回の投句はどのくらいですか」との質問も来るが、それを数える時間と労力が私たちにはない。投句の多さをせめてリスナーに伝えたいと、投句が届く度に事務所 の体重計で測り、その写真をブログに載せるようになった。

「重さは3.7キロ」なんてお知らせしていたが、ある日リスナー俳人から「一人平均何句くらい書いてますか」との質問がきた。投句数に制限は設けてないので、一句勝負の人もいれば、数打ちや当たる三十句なんて人もいる。「平均すると一人四句ぐらい」と番組でお返事したら、なんとスゴい計算式が届いた。「A4用紙一枚は約4グラム。一枚に平均四句なら、一句1グラムの法則ですね」と。

え？一句1グラム？ 選者としての私は、一句一句の芸術的価値を計るのが仕事。一句1グラムという発想で毎週の投句を眺めたことがなかったのでもちよつと笑ってしまったのだが、「一句の重さ」という言葉が心をかすめた瞬間、はたと

手が止まった。

投句者は、ズブの初心者から句歴二十年以上の強者まで様々。日々の生活を、山あり谷ありの人生を、その心の機微を季語に託した俳句が寄せられる。下手なものは下手なのだから、お世辞や御上手を言うつもりはないが、技術はやがて身につけられる。大事なのは、「俳句は自分のために作る」という芸術的眞実だ。自分のために作る一句の重さは、上手下手にかかわらずどれも変わらないのだ。「今回は6.35キロ！ 最高記録です」とスタッフの声。一句1グラムの法則によると、6350句ということになる。毎週の放送で紹介できるのは、せいぜい百数十句。ほとんどがボツになる。が、一人一人が自分のために作った一句の重さは、変わらない。選者の誠意とは、紙の重さという実感をもって「一句の重さ」を受けとめることではないのかと、しみじみと肝に銘じる。

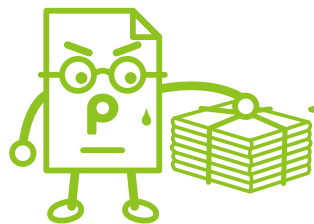


なついつき●俳人。愛媛県生まれ。京都女子大学文学部国文科を卒業後、中学校教諭をへて俳人に。俳句集団「いつき組」組長。「プレバト!!!」「NHK俳句」などTV、ラジオのほか、雑誌、新聞、webなどでも活躍中。俳句の魅力伝えるべく、俳句の授業(句会ライブ)、全国高校俳句選手権大会「俳句甲子園」の創設に関わる。朝日新聞愛媛俳壇選者、愛媛新聞小中学生俳句欄選者。2015年より俳都松山大使。著作に「夏井いつきのおうちde俳句」,句集「伊月集龍」,「子規365日」など多数。

## ペーパー君のつ・ぶ・や・き 活動

### 紙に一番多く使われている原料は？

答えは「木」と思っている方、多いはず。でも実は、使用済みの新聞や雑誌、段ボールなどの「古紙」なんです。その割合は、なんと原料全体の60%以上。古紙利用率は年々高まってきていて、2020年度に65%に到達させることが目標なんです。



#### 古紙利用率の推移

※古紙利用率  
|| 古紙消費量  
製紙用繊維素原料



資料：経済産業省「紙・パルプ統計」

紙のことをもっと伝えたい。詳しくは、「ペーパー君のつ・ぶ・や・き」WEBサイトをご覧ください。 <http://kamitsubu.com/>

今回は7月30日号、大栗博司さんです。

提供 ● 日本製紙連合会 <http://www.jpa.gr.jp>

Photo: Yasushi Heike